

# クリスタルコンサート2017

～ 合唱と劇による「赤毛のアン」～



今月28日(日)、大曲市民会館小ホールにて第10回を迎える、主宰・伊藤美果さんの『クリスタルコンサート』が開催されます。バレエ、ゴスペル、声楽、ピアノの混成で始まったコンサートも、規模・内容共に年々素晴らしい出来映えです。すべてが見どころですが、ゲスト「合唱集団男組」は気になりますね。伊藤さんから、「新たなスタート～新しい合唱の形を求めて」というメッセージを頂きました。テーマ～合唱と劇による「赤毛のアン」～。入場無料。皆さん、お誘い合せの上ご来場ください。

'17 **5/28日**

開演 **14:00** **入場無料**  
(開場 13:30)

**大曲市民会館  
小ホール**



【指揮・合唱指導】伊藤美果

後援／大仙市教育委員会・大仙市芸術文化協会  
協力／ゆきんこカード事業振興組合

お問い合わせ 090-8924-0515 (伊藤)

- 曲目**
- かぐや姫の物語より「わらべ歌」
  - 富山県民謡「こきりこ」
  - 枕草子より「あてなるもの」  
「私の好きな月」
  - 銀河鉄道の夜
  - 男声合唱で歌う懐かCM …他

- 出演** ●クリスタル・クワイヤー  
(ベアール大仙「楽しいコーラス」  
「ゴスペル&コーラス」受講生有志)
- 【ゲスト】 ●合唱集団男組  
【指揮・合唱指導】 ●伊藤美果  
【ピアノ】 ●鈴木早苗

(資)精巧堂印刷所/ゆきんこカード事業振興組合は地元秋田の皆さんを元気づけ、幸せを創り出す「クリスタルコンサート」を応援いたします。

## ≡インフオメーション≡

2017年4月22日(土)「おしごと学校、のご報告致します。130人の小学生が保護者とともに参加しました。」



大曲青年会議所スタッフの皆さん

去る4月22日(土)「おしごと学校」が創立45周年を迎えた(一社)大曲青年会議所(澤野秀輝理事長)の主催により行われました。こども達が、当地で活躍する方々のお仕事やものづくりを通して新たな故郷と出会って欲しいという想いも込められております。

参加者の仙北市・大仙市・美郷町の小学生130名が10種のお仕事から選んで楽しい雰囲気の中、真剣に学びました。大仙市音楽交流館(旧北神小学校)の各教室に子供達と町のプロのお仕事先生達を中心に、保護者の方々共々、青年会議所のメンバーの生き生きとしたイベントが催されました。昼食時には大曲納豆汁旨めもの研究会より「大曲納豆汁」も振る舞われました。

青年会議所「青少年育成委員会」の笠原基嗣さん、本間啓之さん、扇田亮さんはじめ会員皆様ありがとうございました。

青年会議所皆様からのメッセージとお礼が届いております。平成29年4月22日(土)一般社団法人大曲青年会議所4月定例会「おしごと学校」を開催いたしました。

今年度3回目の事業で、廃校である、旧北神小学校(大仙市神岡)を舞台に、大仙市・仙北市・美郷町の伝統文化や地元企業の方を「先生」として迎え、子供たちに体験を通じた「おしごと」の授業をしていただきました。

「おしごと」を体験することで、地域の魅力と文化を感じ、知っていた良い機会になったと思います。また、保護者の方々にも、地域の良さを再確認していただき、子供たちの将来を後押しする機会にもなったかと思えます。

今回の事業は3回目になります。100名の募集に対して、150名以上の申し込みがございました。当初の予測を大きく超え、急ぎ130名に定員を増やし、事業を実施することになりました。

参加してくれた企業の方々のご協力のもと、「おしごと」を体験し、楽しみながら学んでいる子供たちの姿は何よりも輝いていました。そして、今回はじめて実施した、質問コーナーでは、子供たちが参加してくれた先生(企業の方々)に積極的に質問をしていました。「どうしたら、先生のような仕事ができるのか」など、自分の将来を考えるような質問をする方が多くありました。また、最後に書いてもらった絵日記を見て、この地域の魅力と文化を伝えることができたのではないかと実感しました。

運営面では、至らなかった点が多々あったかと思いますが、参加していただいた皆様、誠にありがとうございました。また、今回申し込みにもかかわらず参加できなかった皆さま、大変申し訳ございませんでした。

最後になりますが、今回お忙しい中、快く事業に参加・協力をいただいた企業、団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

大曲青年会議所の皆様、今年もありがとうございます。おしごと学校に参加している子どもたちの「手」に見とれてしまいました。学校でも頑張ってるんでしょ。私たちの古里の子どもたちの「働く手」が何と美しいのでしょうか。ものを作りあげ、手ごとで、まるで世界を創造するよう子どもたちの手。そして繊細な指先に、私たちは古里の秋田の「未来を」心からゆだねてゆきたいと願わずにはいられません。—私の手 あなたの手は動いて働いて 私の手があなたを助けて あなたの手はみんなを助ける 手が人間のために働いて 世界が変わる—うろ覚えですが、こんな詩を読んだことがあります。青年会議所の皆さん、子どもたちが、少くなくつつある本当に出会うべき学びや、体験の可能性を切り開きプレゼントしてくれて感謝いたします。今後の皆様の活躍に期待と応援を込めて感謝に添えつつ送ります。(応援文 越中幸)



ゆきんこカード事業振興組合・精巧堂印刷所・仙北新聞は

私たちの文化・産業・伝統を発信し、育てながら、人と人をつなぎ、地域に元気と生きる力を創りだす皆様に応援します!